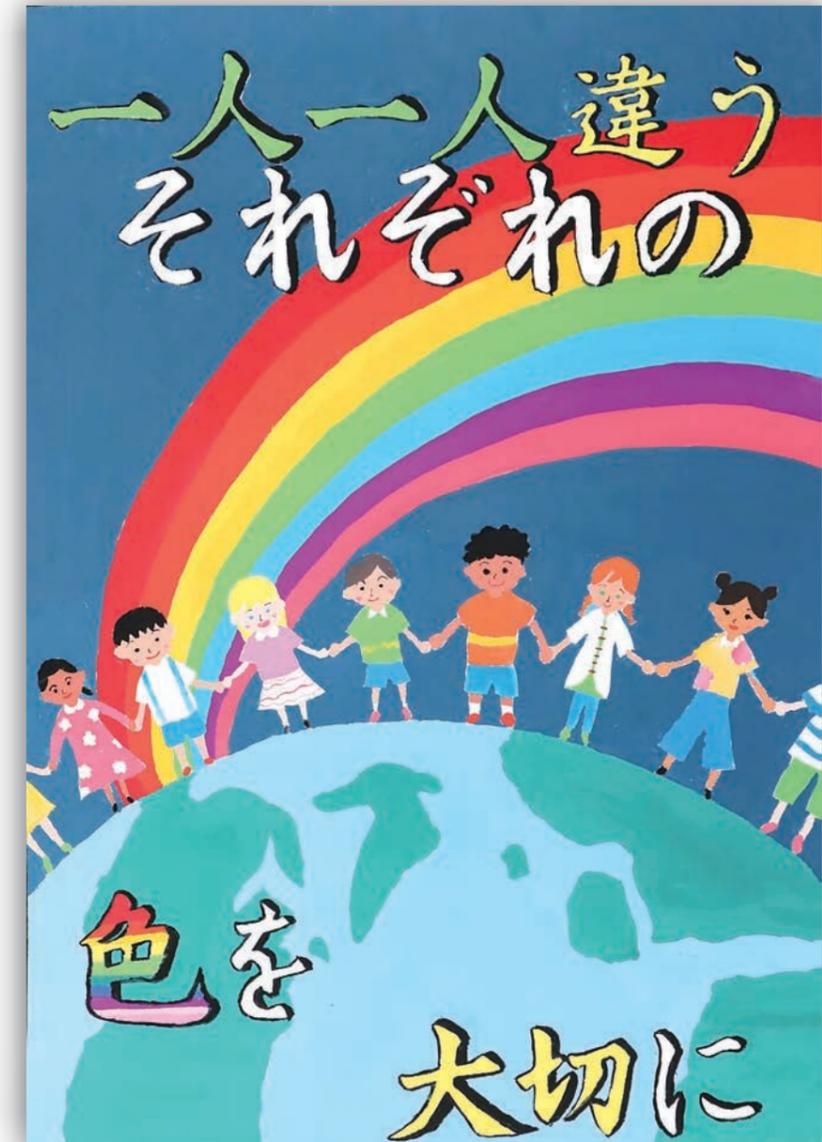


性の多様性について考えよう

～みんなが自分らしくいるために～



男女差別について

小学五年生

私は、この前、男女差別について考える出来事がありました。

五限目の授業が終わり、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんと帰ろうとした時に、雨がふってきた。Cさんだけが、かさを持っていませんでした。私は、

「かさを二本持っているから、一本貸してあげよう」と言いました。Cさんは、

「ありがとう。」
と言って、私のかさを使いました。AさんとBさんは、

「やっつね。」
と言ってくれました。でも、Dさんは笑いながら、「おかしい。男の子が女の子のものを使っている。」と言いました。AさんがDさんに

「なんで、男の子は女の子のものを使っちゃいけないの。」
とおどろきながら言うので、Dさんは、
「あたりまえだよ。そんなことも知らないの。」
と言いはじめ、AさんとDさんがもめてしまいました。確かにAさんの方が正しいけど、そのことをDさんに言ったところで、もめごとはおどまり

ません。私は、AさんとDさんのもめごとを見ることしかできませんでした。そうしたら、Cさんが、
「男の子が女の子のものを使っちゃいけないって、男女差別じゃない。」
と言うと、Dさんはだまっしてしまいました。すると、Aさんが、

「Cさんの言うとおりだよ。別に男の子が女の子のものを使っちゃいけないって言うことはないだよ。」
と、やさしく言いました。Dさんはなつとくく、あやまってくれました。

私は、年上の男の子に、よく服をもらいます。私は、男の子からもらった服を着ることもおかしくないと思いました。服以外にも、くつなど、男の子が使っていいようなものを使うのもおかしくな
いと思います。

最近では、だれでも使っているトイレがあります。男女や身体の不自由さに関係なく使えるトイレがあると、みんなが使いやすいです。車いすの人、広いので使いやすいです。そのトイレを使いたい人がいたら、お互いにゆずり合って使いたいです。

男女差別などは、絶対にいけないことです。気づいたら、みんなで注意してやめるようにしていきたいです。

人権作文集「人権の芽」第16集より

伊勢市環境生活部
人権政策課

TEL (0596) 21-5545



表紙：令和4年度人権尊重啓発ポスター-中学2年生の部 市長賞

2023.1 1,000部
再生紙を使用しています。

「性の多様性」ってなに？

長い間、世の中には「男性」と「女性」の二つの性別しかないと考えられてきました。しかし、人それぞれ、顔、性格、価値観などが違うように、人間の性（セクシュアリティ）はたった2つに分けられるほど単純なものではないのです。性の多様性を理解するために、まずは基礎知識を身につけましょう。

●性を構成する要素

性にはさまざまな要素があり、その組み合わせによって作られます。

好きになる性

- ・好きになる相手、恋愛対象が誰か
- ・他者に恋愛感情を持たない人もいます

心の性

- ・自分の性別をどう認識しているか
- ・身体の性と異なることもあります

身体の性

- ・遺伝子、内性器、外性器などによる性
- ・医師の出生証明書により戸籍に記載されます

●エルジービィティーLGBTとは…

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとったものです。

L esbian レズビアン 女性の同性愛者	G ay ゲイ 男性の同性愛者
B isexual バイセクシュアル 両性愛者	T ransgender トランスジェンダー 身体と心の性が一致しない人

セクシュアリティが多数派と異なる人を総称して「LGBT」ということもあります。実際には、LGBT以外にもさまざまなセクシュアリティが存在しますので、それを示すために「エルジービィティーキューLGBTQ」または「エルジービィティーキュープラスLGBTQ+」ということもあります。

●ソジSOGI（ソジ・ソギ）とは…

好きになる性（Sexual Orientation・性的指向）と心の性（Gender Identity・性自認）の頭文字をとったもので、「すべての人が持つ性のあり方」のことです。

セクシュアリティは、LGBTなどの当事者だけの問題ではなく、すべての人にあるものなのです。

性的マイノリティは、何に困っているの？

●同性愛者を笑いのネタにしたり、からかうような発言がある

「オカマ」「ホモ」「レズ」「変態」などの差別的な言葉を、ふざけて使っていませんか？あなたの身近にいる同性愛者・両性愛者の人は、つらいのを我慢して、無理をして笑っているのかもしれない。

●男女で分かれているトイレや更衣室を利用しにくい

トランスジェンダーの人は、男性用・女性用どちらにも入りづらく、トイレを我慢しなければいけないことがあります。

●恋愛に関する話題が、異性愛を前提にしたものになりがち

男性に対して「彼女いるの？」女性に対して「彼氏いるの？」と聞いていませんか？同性愛者の場合、そう聞かれても答えることができません。

●同性カップルの婚姻が法的に認められていない

病院に入院しているパートナーの面会を「家族ではない」という理由で断られたり、遺産相続などの老後の問題など、同性カップルは様々な問題に直面しています。

●戸籍上の性別と外見が異なるために偏見の目で見られる

日常生活の中で、嫌悪感をあらわにされたり、進学や就職活動の中で困難を感じる場合があります。

カミングアウトとアウティング

●カミングアウトとは

本人が、自分のことを打ち明けることです。いつ、誰に、カミングアウトするかしないかは、本人の自由です。「〇〇には、言っておくように」などと、カミングアウトを強制してはいけません。

●アウティングとは

本人の許可なく、本人が秘密にしていることを他人に伝えることです。これは、プライバシーの侵害にあたると同時に、本人が職場や家庭などで居場所を失うことにつながるかもしれません。相談を受けたら、「誰に伝えているのか」「誰に伝えてよいのか」を必ず本人に確認しましょう。



LGBT等の当事者は、周囲にいないのではなく、「本人が言えない」「いるのに見えていない」だけかもしれません。自分の周りに様々な性の多様性を持った人がいることを常に意識した言動を心がけましょう。また、当事者の存在や悩みに気づけるよう、多様なセクシュアリティに関する正しい知識を身につけ、理解を深めましょう。